

第2学年 音楽科学習指導案

日時 令和元年11月13日(水) 5校時
児童数 2年1組 男子14名 女子7名
授業者 景平 京子 於：音楽室

1. 題材名 いい音 見つけて
2. 教材 「ゆかいな時計」(「シンコペーテッド・クロック」ルロイ・アンダーソン作曲 1945年)

3. 題材について

(1) 題材観

本教材と学習指導要領とのかかわり

B 鑑賞 (1) ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。

イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。

ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉であらわすなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。

【共通事項】ア (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素

(イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み

題材の目標は、楽器の音色、リズムの繰り返しや変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、音楽の表している様子を思い浮かべて聴くことである。(B (1) ウ)

本教材である鑑賞教材「ゆかいな時計」は、前奏—A—B—A—後奏の複合三部形式になっており、ウッドブロックが時計の秒針の音を表しながらも、シンコペーション(拍子、アクセント、リズムの定期的な進行を故意に乱すこと)でリズムを外したり、中間部ではトライアングルで表される目覚ましのベルが鳴ったり、最後にスライドホイッスルで時計が壊れてネジがとんだような音がしたりと、「ゆかいな」仕掛けが満載で、児童にも親しみやすく、わかりやすい楽曲である。そのため、冒頭から流れるウッドブロックの変化、旋律の繰り返し、曲全体に漂う心地よさ、印象的な曲の終わり方など、児童は様々な視点でこの楽曲をとらえることができると考える。繰り返し聴くことで、シンコペーションのリズムと打楽器の音色がタイトルにある「ゆかいさ」と関係しているを感じながら、楽曲に合う動きを考えさせ、表現する学習を通して、楽曲の楽しさに気付かせたいと考えた。

(2) 児童観

本学級の児童は、明るく活発で、歌うことやダンスをすることが好きな児童が多い。1学期に音楽朝会で取り上げて歌った「パプリカ」では、体を大きく動かしながら元気に歌うことができた。その一方で、大きな音に敏感に反応したり、鍵盤ハーモニカの演奏に苦手意識をもっていたりして、音楽の授業に対して消極的な児童もいる。

歌唱については、明るく元気な歌を好み、「歌ことば」でしっかりと歌う曲は歌詞の理解や高音域の発声の仕方が未熟なためか、敬遠する傾向がある。

器楽については、鍵盤ハーモニカの演奏技術には個人差があるものの、「わくわくジェットコースター」や「虫の声」で様々な楽器に触れる活動をとても楽しんだ。

鑑賞学習については、1学期にさまざまなジャンルの音楽を聴いて体をゆらしたり、人差し指で机をドラムのように叩いたりしながら鑑賞し、その後行ったイントロクイズをとても楽しんでた。鑑賞の視点としては「リズムの速い遅い」「音の強弱」「元気な曲や優しい感じのする曲」などといった感想がもてる児童はいるものの、楽器やその音色に着目する児童は少なかった。

(3) 指導観

指導に当たっては、まず第1時で「ゆかいな時計」を繰り返し聴いて、曲の面白さや目立っている楽器（主にウッドブロック、トライアングル）について学習する。第2時では、第1時で感じたことを、体を使って表現し、楽曲の楽しさに気付くことができるようにしたい。そして、今後の鑑賞の際には、楽器の音色やリズムに着目するという視点を持つことができるようにしたい。いろいろな視点で何度も曲を聴き、身体表現を用いて曲の理解を深めるこれらの活動は、本大会のテーマ「聴こう・歌おう・深めよう」につながっていくと考える。

本時は第1時を行う。曲との初めての出会いは「ゆかいな〇〇」とだけ紹介し、何を表わしている曲かを考えながらイントロ部分を聴かせ、交流させる。その後、はじめ・中・終わりの部分にわけて聴く。ワークシートには聴き取った楽器（知覚）やその音色から感じ取ったこと（感受）を書かせる。その際「はじめ」については、一緒にワークシートの書き方を確認しながら鑑賞する。そして、この曲の何が「ゆかい」だったかについて考えることを本時の振り返りとする。次の学習では本時をもとに、曲想に合った動きを考えて表現することを伝え、ウッドブロックやトライアングルの音が聞こえたら立つように促し、一曲を通して聴いて終末としたい。

4 題材の目標

- ・楽器の音色やリズムの繰り返し・変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、音楽の表している様子を思い浮かべて聴く。
- ・楽器や音素材の響きを聴き取り、楽曲に合うように体を使った表現を考えることを楽しむ。

5 題材の評価規準

ア音楽への関心・意欲・態度	イ音楽表現の創意工夫	ウ音楽表現の技能	エ鑑賞の能力
楽曲の気分、音色やリズムの面白さ、楽しさや、音や音素材の響きに興味・関心を持ち、鑑賞の学習や表現の学習に進んで取り組もうとしている。 関心—①			音楽を形づくっているリズムや音色を聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取りながら、楽曲や演奏のたのしさに気付いたりして味わって聴いている。 鑑—①

6 指導計画（2時間扱い）

	学習内容	○評価規準【評価方法】
1. 本 時	○「ゆかいな時計」を曲全体を通して聴く。	○楽曲の気分、音色やリズムの面白さ、楽しさや、音や音素材の響きに興味・関心を持ち、鑑賞の学習や表現の学習に進んで取り組もうとしている。ア—① 【発言・鑑賞の様子を観察・ワークシート】
2	○曲想に合わせた動きを考えて交流する。	○音楽を形づくっているリズムや音色を聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取りながら、楽曲や演奏のたのしさに気付いたりして味わって聴いている。エ—① 【発言・鑑賞の様子を観察】

7 本時の展開

(1) 目標 楽器の音色やリズムの繰り返し・変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、音楽の表している様子を思い浮かべて聴く。

(2) 展開

○主な学習内容・学習活動 ☆【共通事項】	指導上の留意点 ◆評価規準【評価方法】
<p>1. 学習の意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既習曲を歌い、音当てクイズを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて心と体をほぐす。 ・楽器の音色と名前を確認する。 <p>2. 「ゆかいな時計」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○曲名を予想しながらイントロ部分を聴いて、感想を交流する。 <p>3. 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく活動する雰囲気をつくり、本時の学習への意欲をもたせる。 ○トライアングル、タンブリン、ギロ、ウッドブロックを用意する。 ○「ゆかいな○○」として曲を聴かせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> どんなようすが うかぶかな </div>	
<p>4. 「ゆかいな時計」を繰り返し聴く</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はじめ・中・終わりの部分に分けて聴く。 ○ウッドブロックとトライアングルの楽器を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本のリズム (JJJJ) を確認し、シンコーペーションのところを言葉で表現させる。 ○時計の様子を表わしている楽器を実物で見せる。(ウッドブロック・トライアングル) ○ワークシートの書き方を説明する。 ○ウッドブロックやトライアングルが聞こえたら立ったり、動きを付けたりすることを促しながら鑑賞させる。 ○最後、時計はどうなったかについて交流させる。 ◆楽曲の音色やリズムに関心をもち、音楽を聴いて気付いたことを話したり、気分を感じ取って聴いたりする学習に進んで取り組もうとしている。 アー①【発言・鑑賞の様子を観察・ワークシート】
<p>5. 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○どんなところが「ゆかい」だったか(おもしろかったか)についてワークシートに記入させながら、振り返らせる。
<p>6. 次時の課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一曲通して聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ウッドブロックやトライアングルの音色が聞こえたら、立つように促す。 ○次時は自分たちで曲に合った表現を考えることを伝える。